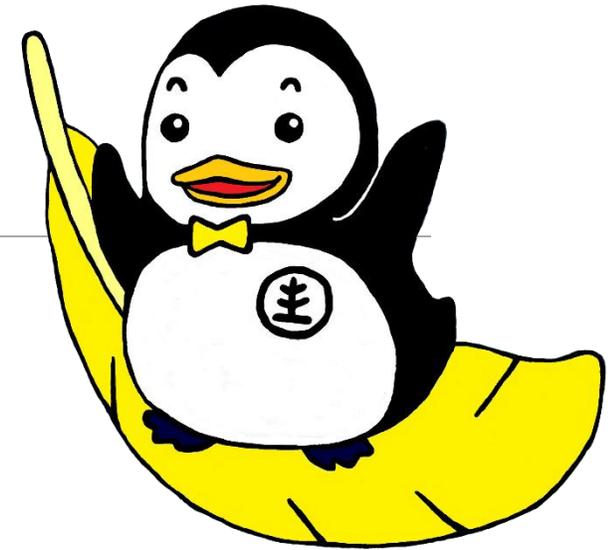


“社会を明るくする運動”について

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

世田谷区推進委員会

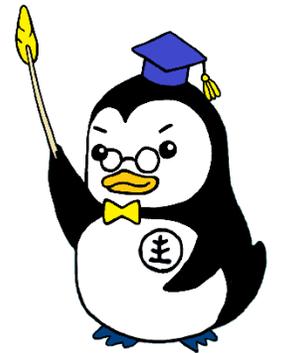


“社会を明るくする運動”とは？

- すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。
- 今年度で73回目を迎えます。

世田谷区推進委員会としての目標

- 犯罪や非行を防止し、安全で安心して暮らすことのできる明るい地域社会を築くこと。
- 犯罪や非行をした人が再び犯罪や非行をしないように、その立ち直りを支えること。



一人になるのが嫌だった。
孤立するのが怖かった。
誰かといないと、不安に押しつぶされそうで。

仲間たちに誘われた時、断れなかった。
自分にとっては唯一で、大切なものだったから、
歪な繋がりにすがりついた。

この街に帰ってきて一年。
色んな人に囲まれて、いま、自分は働いている。

元気がないと気づいてくれる食堂のおばちゃん。
失敗を笑い飛ばしてくれる先輩。
仕事の楽しさも厳しさも教えてくれる社長。
自分が罪を犯しても、見捨てなかった幼馴染。

たくさんの顔が思い浮かぶ。
それにすごく、嬉しくなった。

一人でなんでもできるようになることだけが
自立じゃない。
困ったら、誰かを頼ったっていい。

きちんと一人、でも孤独じゃない。

#生きづらさを
生きていく。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第73回 社会を明るくする運動

7月は“社会を明るくする運動”強調月間・
再犯防止啓発月間です。

社明 しゅめい

検索



「生きづらさを、生きていく。」

- 犯罪や非行の背景にある「**生きづらさ**」は、貧困、虐待、孤立、依存など様々な要因があります。
 - 目指すのは、生きづらさに思いを寄せ、立ち直ろうとする人の生きづらさを包み込むコミュニティ
- ⇒ 新たな被害者・加害者を生まない、誰もが安全・安心に暮らせるコミュニティが大切です。

立ち直り支援の輪を広げていくために

1. 犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支え、再犯を防止することの大切さや、更生保護の活動について、広く周知し、理解を深めてもらうための取組み

⇒ 7月の強調月間を中心とした「社会を明るくする運動」の様々なイベントや広報活動



立ち直り支援の輪を広げていくために

2. 犯罪や非行の防止や、犯罪や非行をした人の立ち直りには様々な協力の方法があることを示し、多くの人に支え手として加わってもらおう取組み

⇒ 自らの過去と向き合い、罪を償って立ち直ろう
としている人たちへの理解や見守り



立ち直り支援の輪を広げていくために

3. 更生保護ボランティアのなり手を増やすための の取組み

⇒ 立ち直りを支援する担い手になる

例) 保護司、更生保護女性会、協力雇用主など

更生保護ボランティアに関する周知啓発



第72回“社会を明るくする運動”実施状況

日程	行事・会議等	開催方法・場所	主催
5月9日(月)	世田谷区推進委員会	書面開催	世田谷区推進委員会
7月1日 更生保護の日(“社会を明るくする運動”強調月間・再犯防止啓発月間開始)			
7月1日(金)	駅頭広報活動	区内主要各駅	世田谷区推進委員会
7月11日(月)	“社会を明るくする運動”の集い	北沢タウンホール	北沢地域活動実行委員会
7月～9月	作文コンテスト		世田谷区推進委員会
8月6日(土) ～7日(日)	「せたがやふるさと区民まつり」コーナー設置(出店中止)	若林公園 松陰神社など	世田谷区推進委員会 世田谷区保護司会
11月16日(水)	情報交換会	北沢タウンホール	世田谷区保護司会
12月14日(水)	世田谷区推進委員会	三茶しゃれなあど ホール オリオン	世田谷区推進委員会

強調月間（7月）における活動

1. 駅頭広報活動

区内の鉄道6駅の駅前において、啓発物品の配布により、“社会を明るくする運動”の広報活動を行いました。

- ①実施日時：令和4年7月1日（金）午前8時～9時
- ②実施場所：三軒茶屋駅、下北沢駅、二子玉川駅、
成城学園前駅、千歳船橋駅、千歳烏山駅
- ③従事者数：329名（上記6カ所計）



↑ 三軒茶屋駅



↑ 下北沢駅



↑ 二子玉川駅



↑ 成城学園前駅



↑ 千歳船橋駅



↑ 千歳烏山駅

強調月間（7月）における活動

2. “社会を明るくする運動”の集い

運動の趣旨の浸透を図るため、講談師の一龍齋貞花氏を招き、講演を行いました。

- ①実施日時：令和4年7月11日（月）
午後1時30分～3時30分
- ②実施場所：北沢タウンホール
- ③内 容：講演「ぬくもりのある家庭について」
講談「金原明善物語」
- ④講 師：一龍齋貞花 氏（講談師）
- ⑤来場者数：168名



↑ “社会を明るくする運動”の集い

強調月間（7月）における活動

3. PRコーナー設置

パネルやポスター、関連する図書の展示に加え、記念品（メディックバン）の配布を行うなど、本運動の趣旨等について広く周知をしました。



↑ 区役所第2庁舎1階ロビー



↑ 中央図書館

強調月間（7月）における活動

4. ポスター掲示

区の広報板（120か所）、公共施設（各総合支所、まちづくりセンター、区民会館、区民センター、地区会館、図書館、児童館など）、小田急線・世田谷線の各駅など、合計約270か所で啓発ポスターを掲示。

5. その他広報

- ① 区のおしらせ「せたがや」（7月1日号）
- ② FMせたがや「世田谷通信」（7月1日～8日）
- ③ 世田谷区公式ツイッター
- ④ 区ホームページ
- ⑤ “社会を明るくする運動”啓発チラシの作成・配布

作文コンテスト

1. 目的

次代を担う小・中学生に、日常の家庭生活、学校生活の中で、体験したことを基に、犯罪・非行のない地域社会づくりや、犯罪・非行などに関して考えたこと、感じたことを作文に書くことを通じて、本運動に対する理解を深めてもらうことを目的とする。



作文コンテスト

2. 実施結果

① 応募作品 (9月2日〆切)

小学校： 1点 (一昨年度 1点)
中学校： 14 1点 (一昨年度 4 4 1点)

② 1次審査会通過作品 (9月9日)

小学校： 1点 中学校： 20点

③ 2次審査会結果 (9月14日)

<優秀賞> ※東京都推進委員会に推薦

小学校： 1点 中学校： 6点

<優良賞>

中学校： 14点

3. 東京都推進委員会の審査結果

<奨励賞> 緑丘中

学校名	中学校		小学校
	緑丘中	奥沢中	用賀小
作品数	112	29	1

せたがやふるさと区民まつり

第43回せたがやふるさと区民まつり(8月6日(土)、7日(日)開催)において、“社会を明るくする運動”コーナーの出店を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の第7波による感染者急増を受け、出店を中止しました。

参考：前回出店時（令和元年度）



参考：前回出店時（令和元年度）



情報交換会

1. 目的

本推進委員会構成団体を対象に、地域社会における社会貢献への理解を深めてもらうことを目的として、公益財団法人メイク・ア・ウィッシュオブジャパン 事務局長 鈴木朋子様を招き、講演を行いました。

2. 実施結果

日 時：令和4年11月16日（水）午後1時35分～2時50分

会 場：北沢タウンホール 2階ホール

講 師：公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュオブジャパン 鈴木朋子様

演 題：「夢の力」

参加者：42名



↑ “社会を明るくする運動” 情報交換会

引き続き、“社会を明るくする運動”の
推進に向けて、皆さまのご理解・ご協
力をお願いします。

